

スマートフォン・タブレットを使用し

数百～数千人の情報収集を可能とするソフトとその操作方法

荒 義明

1. 数千人から数万人に対応したクリックカ

スタートURL https://arasoft9.xsrv.jp/CBI_UnvSt/CBI_UnvSt.php

ここで紹介するものは、大講堂などで開かれる講座や集会で、履修者の反応を取れたらと思ひ、昨年11月に作成したソフトです。履修者にクリックカソフトの初期設定HPに導ければ、回答文字をスマホなどから送信されれば、回答数やグラフによって、履修者の意向が即座に読み取れるソフトです。



初期設定HP



講座番号と参加者番号入力



回答画面の例 ※0

2. 「先生確認」を忘れずに (教師用はPCで操作する。同じプログラムを使用する)

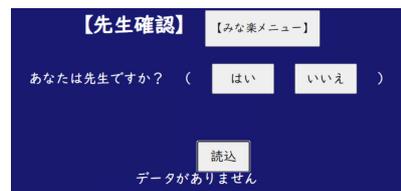


※1

初期設定HPを下にスクロールすると「***」のリンクボタン(※1)



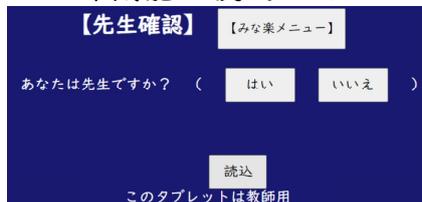
※2



※3

が現れ、これをクリックすると、先生確認(※2)へとジャンプする

最下段の読込ボタンを押すと「データがありません」と表示される。(※3) 質問に「はい」と回答(※4)すれば教師機能が使用できるようになる。



※4

収集したデータを操作できるようになる

3. 講座と履修者の番号入力

講座番号は 1 から 99 番まで、履修者番号は最大 6 桁の番号となっている。これ以上はエラーとなるので注意。

表示エリアが大きい方に数字が入力される。切り替えは、講座、履修者の表示エリアをタッチする。スマホの文字入力機能を使うと動作できなくなる場合があるので、必ず画面上の数字ボタンをタッチするよう注意する。間違った設定をした場合は、クリッカ初期設定HPの起動からやり直してください。

4. 回答方法

※0は 回答用HPである。基本的に回答は 1 文字で送信ボタンで回答送信する。

数字やABCなどをタッチすると 下に選択した文字が表示される。確認して送信ボタンを押すと 回答が送られ、右のような表示（※5）に切り替わる。

誤送信など 回答を変更したい場合は、「回答へ」ボタンをタッチする。回答画面が表示されるので、正しい回答の文字を表示し、再送信すれば前回答は打ち消される。教師設定をした場合、次（※6）のように表示される

◎非常に良い ○良い □普通 または 不明
△良くない ×非常に良くない
など 定義して使って欲しい



※5

5. 教師機能の操作方法 ①回答一覧



※6 data一覧

この画面（※6 data一覧）では、回答者の送信文字を一覧でき、左下に各文字の回答者数が表示される。右上のボタンによりグラフ化（※7, 8, 9）したり、回答用テキストボックスに直接打ち込んだ文章などを表示（※10）することが出来る。ただし、文章は数十人分しか表示エリアが用意できないので、少人数の場合のおまけです。

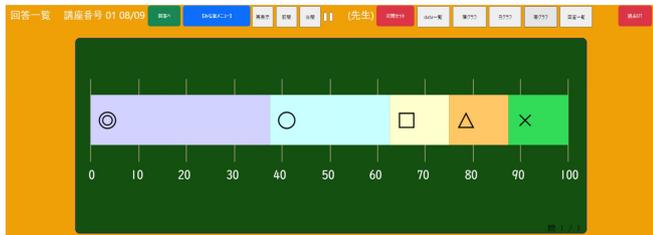
回答grを切り替え（※11回答へボタン）でき 全問の回答が前問、後問で表示できる



※7 棒グラフ



※8 円グラフ



※9 帯グラフ

23	2302	2304	2305	2306	2307	2308
○	○	○	○	○	○	○
□	□	□	□	□	□	□
△	△	△	△	△	△	△
×	×	×	×	×	×	×

※10 回答文字列表示

【次問セット】 番号 [【みな楽メニュー】](#)

次問の番号 ()

質問の種類 キーになる質問 質問 感想 その他

コメント

次の質問

※11 次問セット

回答一覧 講座番号 01 08/09 [回答へ](#) [【みな楽メニュー】](#) [再表示](#) [前問](#) [後問](#) || (先生) [次問セット](#) [data一覧](#) [棒グラフ](#) [円グラフ](#) [帯グラフ](#) [回答一覧](#) [過去DT](#)

A A

問 2 / 2

A=2 B=0 C=0 D=0 E=0

※12

右下の 問 2 / 2 は 今表示している回答グループは 2問中の2番目

②次問セット ※！！

この画面を呼び出すと、次問の番号は データファイルから 自動的に割り出して 表示する。

質問の種類は タイプとして 質問か感想か その他に区分しているが、重要な質問に地位手は「キーになる質問」を設けた

セットボタンを押すと 新しい回答グループのページに切り替わる

「前問」「後問」ボタンにより それ以前の回答結果も見ることが出来る

6. みな楽メニュー

これまでに紹介したソフトへのリンクメニューである。教師設定で先生指定を外すと、みな楽メニューも ※6以降の教師機能は使えなくなる。

この場合は 『2.「先生確認」を忘れずに』に戻って、先生であることを設定してほしい



7. 注意

①回答文字列中で使えない文字

制御コードであったり、<>などのHTMLタグであったりすると、動作がおかしくなる

②表示がおかしくなる文字

AndroidやChromebook、iPadの記号は、windowsで用意した文字サイズと異なるため、表示が崩れる

なお、本ソフトは、Android, Chromebook, Windows, iPadであればスマホ、タブレット、ノートPC、デスクトップなど どの機種でも 使用できる。

8. 終わりに

右のQRコードは、スタートURLです。

オープンスクールなどで、会場の履修者にスタートURLを知らせする方法としては、QRコードは有効だと思います。後は個人を履修者番号など、ユニークになる6桁以内の番号があれば、本ソフトは使用できる。

小学校、中学校であれば、学年1桁、クラス1桁、生徒番号2桁で、学内全員にユニークな番号が設定できる。公開講座などで全員にユニークな番号を設定するソフトの必要性を感じた。



スタートURL https://arasoft9.xsrv.jp/CBI_UnvSt/CBI_UnvSt.php